

# 海上保安協会名古屋支部会員等による施設見学

令和6年11月5日  
名古屋港海上交通センター

## 業務概要説明

1便の皆様 ～お陰様で30周年 感謝を込めて地域貢献～



施設見学



2便の皆様



海図体験



3便の皆様



11月2日、運用開始30周年記念行事及び156周年灯台記念日行事（イベント）として、海上保安協会名古屋支部、海上保安友の会及び燈光会を対象とした施設見学を開催しました。

午前の部と午後の部2回の計3回に分けて、海保業務概要説明、管制室見学・センター業務説明・海図体験を実施しました。地元の方々53名に30周年の感謝の気持ちを込めて丁寧に対応した結果、アンケートでは高評価を頂き、参加者の記憶に残るイベントとなりました。

参加者のなかには当庁OB2名も駆けつけて頂き、30年前の当センター設置に大変ご尽力された大先輩の方々には当時の思い出話に花が咲き、久しぶりの再会で旧交を温めていました。

参加者から「とても勉強になりました。この施設により日本の経済が守られているのだと思いました。」「海図体験で見ることができた日本の海の中の地図では、今まで見ていた地図とはまったく異なって見えて、あらためて海の中を知ることができました。」「30年前に見学させて頂いて以来の見学だった。船の入出港が増えているが管制機器も発達している。ただ最後は人の判断だと理解できた。」とのコメントを頂きました。参加者が満足されてお帰りになる様子を見て、**当センター職員も達成感と、イベント企画や広報・広聴のノウハウ**を得ることが出来ました。

当センターは、今年運用開始30周年を迎え、このような当庁業務を広く皆様にお伝えできる場を設けて、**関係機関との連携・地域貢献や人材確保・人材育成**にも引き続き取り組んで参ります。